

# 日本ガイシ、ポーランドにDPFの第二工場建設

Edited By LogisticsToday On 2015/03/12



日本ガイシは11日、ディーゼル車排ガス浄化用セラミックスの需要拡大に対応するため、ポーランドの製造子会社NGKセラミックスポーランド（シロンスク県グリヴィツェ市）の第二工場を建設すると発表した。

2017年1月に生産を開始し、炭化ケイ素（SiC）製ディーゼル・パティキュレート・フィルター（DPF）の生産能力を30%増強する計画。

NGKセラミックスポーランドは同社グループで唯一のSiC製DPFの生産拠点で、04年に生産を開始して以来、主要市場の欧州で拡大する需要に対応するため、生産能力を段階的に増強してきた。

今後も需要拡大が見込まれ、既存拠点に拡張の余地がないことから、ポーランドに第二工場を建設し、生産能力を増強することを決めたもの。

第二工場は既存拠点の東方50キロにあるテュチナバ工業団地（シロンスク県ドンブロヴァ・グルニチャ市）に建設する。設備投資額は170億円で、SiC製DPFの生産能力を既存拠点と合わせて現在に比べ30%増強する。8月に着工し、17年1月から生産を開始する。

## ■NGKセラミックスポーランド第二工場の概要

名称：NGKCEAMICSPOLSKASP. ZO. O. 第二工場

所在地：ポーランド共和国シロンスク県ドンブロヴァ・グルニチャ市テュチナバ工業団地

生産品目：炭化ケイ素製ディーゼル・パティキュレート・フィルター

敷地面積：14万7000平方メートル

建屋面積：3万6000平方メートル

投資額：170億円

着工：2015年8月

生産開始：2017年1月

